

研究倫理に関する学習・教育目標等一覧（令和元年度（平成31年度）～）（詳細版）

（注）学習方法は、平成31年度から実施できるように各科目担当の組織内で検討する。なお、学習方法の例示すべてを行うことを求めるものではなく、学生個々による。

項目		1. 学術における誠実性	2. 研究者の役割と社会的責任	3. 責任ある研究活動	4. 法令の遵守
主たる概要		学術・研究における誠実性（Academic Integrity）について理解し、持つべき姿勢・態度等を共有する ・東工大生としての自覚を持つこと ・研究者としての姿勢・態度等を持つこと ・「東京工業大学における研究者等の行動規範」の理念の理解と重視すべき価値の共有など	研究者が担う役割と社会的責任を理解し、持つべき姿勢・態度等を共有する ・研究者は社会の責任あるメンバーであるとの意識 ・学術・研究における今日的倫理問題の理解 ・科学技術の環境及び社会に与える影響の理解など	責任ある研究活動（RCR: Responsible Conduct of Research）（以下RCRとする）の概念とその重要性を理解し、実践する ・研究の自由と守るべきものへの理解 ・正しいデータの扱い ・オーサーシップの理解など	責任ある研究活動を実践する上での規則やポリシーに関する知識を持ち、これらを遵守する ・国や大学が定める研究に関する諸規則・ポリシー ・研究不正への対応に関する規則 ・研究費の適切な利用など
博士後期課程 (レベル3)	確認	研究室ごとにレベル3チェックリストの実施 【入学・進学時に周知・確認、博士在籍中に毎年確認 → 修了時にもチェックリストで最終確認（修了要件ではない、コースの判断による）】			
	目標	レベル2を踏まえて、 more advanced & practice (可能な範囲で周囲に指導できる)	レベル2を踏まえて、 more advanced & practice (可能な範囲で周囲に指導できる)	レベル2を踏まえて、 more advanced & practice (可能な範囲で周囲に指導できる)	レベル2を踏まえて、 more advanced & practice (可能な範囲で周囲に指導できる)
	学習方法 (例示)	【授業科目】文系教養科目及びキャリア科目（600番台）、コース等ごとに開講される科学技術倫理や研究倫理を取り扱う科目（600番台） 【オンライン】eAPRIN東工大基本コース（e-Learning）、eAPRIN JST理工系コース（e-Learning）、SPOC、日本学術振興会 研究倫理eラーニングコース（e_LCoRE） 【その他】研究室活動、科学技術振興機構「研究倫理教育用の映像教材『THE LAB』」、諸規程・ガイドライン、本学HP（在学生向け 研究倫理に関するページ）、あらゆる機会に（Ethics at every opportunity.）			
学士特定課題研究開始後 (レベル2)	確認	研究室ごとにレベル2チェックリストの実施 【課題研究開始時・入学時に周知・確認、修士在籍中に毎年確認 → 修了時にもチェックリストで最終確認（修了要件ではないが、コースの判断による）】			
	目標	a) 東工大生としての自覚 b) 倫理的な感受性（すなわち研究や技術の実践における倫理問題を見いだすことができる能力）を高める (advanced) c) 倫理的問題を解決するためのスキルを修得する (advanced)	a) 研究者の役割と社会的責任を理解する b) 工学・理学・生命科学・情報科学・心理学など自らが所属する個別分野での倫理（例えば、技術倫理、情報倫理、人を対象とする研究に関する倫理）について理解する(advanced)	A) 責任ある研究活動の推進及び研究不正の防止についての知識・理解(advanced) B) 責任ある研究活動におけるデータの扱い方に関する知識・理解(advanced) C) オーサーシップの意味と重要性に関する理解(advanced) D) 責任ある研究活動を推進するために必要な環境の整備に関する知識と態度	A) 責任ある研究活動を行うために必要な法令・ポリシーなどに関する知識・理解（人を対象とする研究に関連する事項を含む）(advanced) B) 研究不正への対応に関する規則やポリシーについての知識・理解 C) 共同研究に関連する規則やポリシーなどについての知識・理解 D) 利益相反に関する知識・理解 E) 研究費の適切な利用
	学習方法 (例示)	【授業科目】文系教養科目及びキャリア科目（400番台、500番台）、「文系エッセンス2 科学技術倫理」（400番台）、「修士社会・ビジネスのルールと倫理」「修士研究と社会貢献」（500番台）コース等ごとに開講される科学技術倫理や研究倫理を取り扱う科目（400番台、500番台） 【オンライン】eAPRIN東工大基本コース（e-Learning）、eAPRIN JST理工系コース（e-Learning）、SPOC、日本学術振興会 研究倫理eラーニングコース（e_LCoRE） 【その他】研究室活動、科学技術振興機構「研究倫理教育用の映像教材『THE LAB』」、諸規程・ガイドライン、本学HP（在学生向け 研究倫理に関するページ）、あらゆる機会に（Ethics at every opportunity）			
学士特定過大研究開始前 (レベル1)	確認	レベル1チェックリストの実施 【入学オリヤ系所属説明会での説明、学修案内への掲載、各系・各系での説明（研究プロジェクト等）を通じて周知。 → 学士特課研申請時に研究室ごとにチェックリストで最終確認（申請要件ではないが、系の判断による）】			
	目標	a) 東工大生としての自覚 b) 倫理的な感受性（すなわち研究や技術の実践における倫理問題を見いだすことができる能力）を高める (basic) c) 倫理的問題を解決するためのスキルを修得する (basic)	a) 研究者の役割と社会的責任を理解する b) 工学・理学・生命科学・情報科学・心理学など自らが所属する個別分野での倫理（例えば、技術倫理、情報倫理、人を対象とする研究に関する倫理）について理解する(basic)	A) 責任ある研究活動の推進及び研究不正の防止についての知識・理解 (basic) B) 責任ある研究活動におけるデータの扱い方に関する知識・理解 (basic) C) オーサーシップの意味と重要性に関する理解 (basic)	A) 責任ある研究活動を行うために必要な法令・ポリシーなどに関する知識・理解（人を対象とする研究に関連する事項を含む）(basic)
	学習方法 (例示)	【授業科目】「東工大立志プロジェクト」（100番台必修）、「科学技術倫理A、B、C」（100番台～300番台）、「教養卒論」（300番台必修）、「類専門科目」（100番台）、「実験を行う科目」（100番台～300番台）、系ごとに開講される科学技術倫理や研究倫理を取り扱う「系専門科目」（200番台、300番台） 【オンライン】SPOC、日本学術振興会 研究倫理eラーニングコース（e_LCoRE） 【その他】諸規程・ガイドライン、本学HP（在学生向け 研究倫理に関するページ）、あらゆる機会に（Ethics at every opportunity）			